

News Release

2019年2月21日

NTT東日本新潟支店

魚沼市におけるオンライン診療等の実証実験への協力について

NTT東日本新潟支店(支店長:飯塚 智)は、魚沼市(市長:佐藤 雅一)、魚沼市医療公社小出病院(院長:布施 克也)が実施するICTを活用したオンライン診療等の実証実験に協力いたします。

【背景・目的】

魚沼市では高齢化や慢性的な医師・看護師不足といった課題を抱える中、市民が安心して医療サービスを受けられることができるよう、高度医療を担う魚沼基幹病院と、身近な医療を担う市立医療機関等の中で効率的な役割分担を行い、将来に渡り持続可能な医療提供体制を構築しております。その取組みの一環として、へき地医療や在宅医療への活用を目的としたオンライン診療の実証実験を、NTT東日本のICTソリューションを活用し、市立小出病院と山間部大白川地区の患者居宅をつないで行います。あわせて、当日は手書き診療申込書・紹介状等のデータ変換や、診断結果の検査画像等のオンライン共有についてデモンストレーションも行います。

【実証実験概要】

1. 日時

2019年2月26日(火)14:10~16:00 (患者宅と病院を繋げたオンライン診療は14:15~を予定)

2. 場所

魚沼市医療公社小出病院(新潟県魚沼市日渡新田34番地)

3. 内容

- (1)TV会議システムを活用した小出病院と遠隔の患者様宅を繋げたオンライン診療
- (2)セキュアオンラインストレージ(フレッツ・あずけ〜)を活用した遠隔医療施設間での医療画像共有
- (3)AI-OCR(AIよみと〜 おまかせRPA)を活用した手書き文書(診療申込書・紹介状等)のデータ変換

4. その他

NTT東日本新潟支店は、今後も新潟県における地域課題の解決に向けて、ICTを活用した遠隔診療、医療機関連携、医療事務のRPA化等に貢献していく考えです。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

NTT東日本新潟支店

企画総務部 総務・広報担当 新沼

Tel : 025-227-6483

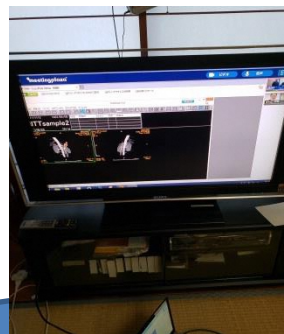
へき地診療・在宅診療への活用を目的に下記実証実験を行います。

- ① **オンライン診療**：D（病院） to P（患者）：多地点TV会議システムを活用した在宅診療
- ② **医療画像共有／診断**：D to D：セキュアオンラインストレージ（フレッツ・あずけ〜る）による検査画像等のオンライン共有
- ③ **手書き文書のデータ変換**：AI-OCR+RPA（AIよみと〜る おまかせRPA）による手書き診療申込書・紹介状等のデータ化とシステムへの取り込み

* 今回の実証実験では実際に小出病院と患者様宅を繋いだオンライン診療のデモンストレーションを行います。医療画像共有、AI-OCRによる手書き紹介状等のデータ化は院内会場にてデモンストレーションを行います。

① オンライン診療

患者宅



患者宅側画面イメージ
(自宅のTVで診療を受けれます)

氏名	性別	年齢
岩崎 大介	男	45

手書き紹介状イメージ

③ 手書き文書のデータ変換

インターネット

AI-OCR/RPA

紹介状(診療情報提供書)手書き

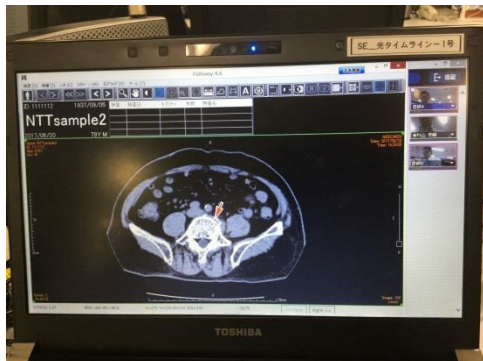
手書き紹介状イメージ

小出病院

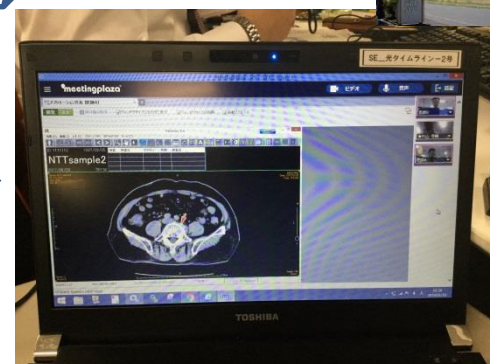


② 医療画像共有／診断

セキュアオンラインストレージ



病院側画面イメージ



患者側画面イメージ

(参考資料) 魚沼市遠隔医療実証実験実施模様

実証実験模様



報道記事

読売新聞記事 (2月27日)

山間部患者 遠隔で診察

魚沼市 導入へ実験

通院や往診負担軽減

魚沼市は26日、情報通信技術（ＩＣＴ）を活用し、近へて医療機関がない山間部の患者を診察する「遠隔診療」の導入に同じく遠隔医療を進めた。山間部の患者も病院をインターネットで結び、高齢者の通院や医師の往診にかかる負担軽減につなげる狙い。

この日の実験では、市立小出病院と近隣の離れた同市大川町の徳井キヌエさん。

徳井さんは画面に向かって「肩が痛いんですけど、今年もいらないです」と話した。徳井さんや山間部の患者は、遠隔診療の導入で、通院や往診の負担が軽減される。山間部の患者も病院をインターネットで結び、高齢者の通院や医師の往診にかかる負担軽減につなげる狙い。

山間部・患者宅 — インターネット —> 小出病院

2017年2月26日 TV放映

NHK 新潟ニュース 610 (18:12~18:15)

テレビ新潟 (TeNY) タイワニ 新潟一番 (18:25~18:27)

新潟テレビ21 (UX) スパ!100水た (18:33~18:35)

新潟放送 (BSN) けうごび (18:36~18:38)

【花松情報】27日

「NCT東日本がサビー」を推進する「在宅医療推進事業」を始めた。NCT東日本の協力を得て、ICTを活用した遠隔診療の実証実験に乗り出した。

遠隔診療は、高血圧や糖尿病などの慢性疾患が安定した患者が対象で、交通が不便な地区を対象に、交差する計画。市は遠隔診療を推進し、17年度から「遠隔診療」の実証実験を行う。共々を確保して、「NCT東日本がサビー」

産経新聞記事 (2月28日)

「テレビ会議」で診察

魚沼市の病院実証実験。魚沼市(山)小出病院(山間部)は、テレビ会議システムを活用して遠隔診療している患者を診察する実証実験を開始した。山間部の高齢者や交通が不便な患者が、自宅から約20分離れた同市大川町の女性患者(88)宅にあるテレビにパソコンとカメラを接続。病院側の設備を通じてインターネット経由で対話できる。医師は「体調がどうですか」と問いかける。患者は「喉の痛みがひどい」と訴える。

一方、実験を主導した東川診療所長は「高齢化が進む中で、市内に病院がない地域をカバーしたい」と力を込めた。NCT東日本の新事業推進部長は「地域に根ざった医療サービスを提供したい」と話した。

「テレビ会議」で診察
魚沼市 導入へ実験

魚沼市は26日、情報通信技術（ICT）を活用し、近へて医療機関がない山間部の患者を診察する「遠隔診療」の導入に同じく遠隔医療を進めた。山間部の患者も病院をインターネットで結び、高齢者の通院や医師の往診にかかる負担軽減につなげる狙い。

この日の実験では、市立小出病院と近隣の離れた同市大川町の徳井キヌエさん。

徳井さんは画面に向かって「肩が痛いんですけど、今年もいらないです」と話した。徳井さんや山間部の患者は、遠隔診療の導入で、通院や往診の負担が軽減される。山間部の患者も病院をインターネットで結び、高齢者の通院や医師の往診にかかる負担軽減につなげる狙い。

日経新聞記事 (2月22日)

オンライン診療 実験へ

魚沼市 NCT東と山間部で

NCT東日本新潟支店（IISが受けられる環境と新潟県魚沼市は、ICT（情報技術）「サビー」を推進し、オンライン診療の実証実験を26日に実施する。市立小出病院と山間部の患者の住宅を、テレビ会議システムを使った診療や医師間の連携を強化する。高齢者や医師不足などの課題を抱えるが、遠隔診療の結果や検査画像などを共有する実験を行う。共々を確保して、「NCT東日本がサビー」

「NCT東日本がサビー」を推進する「在宅医療推進事業」を始めた。NCT東日本の協力を得て、ICTを活用した遠隔診療の実証実験に乗り出した。

遠隔診療は、高血圧や糖尿病などの慢性疾患が安定した患者が対象で、交通が不便な地区を対象に、交差する計画。市は遠隔診療を推進し、17年度から「遠隔診療」の実証実験を行う。共々を確保して、「NCT東日本がサビー」